

子育てしやすい環境づくりの推進について



H27.11.30 山口県こども・子育て応援局

子育てしやすい環境づくりの推進

◇ 子育てに関する現状と課題 ◇

○人口の減少

S60 160万人 → **H22** 145万人 → **H52** 107万人 (30年間で30%減少)

○少子化の進行・出生数：**H26** 10,197人 (前年比△508人)

・合計特殊出生率：**H26** 1.54 (前年比△0.02)

○20～39歳女性人口大幅減少

S55 23.1万人 → **H22** 15.3万人 → **H52** 9.3万人 (30年間で39%減少)

○未婚化・晩婚化の進行

・生涯未婚率上昇：**S55** 男性2.61%、女性3.54% → **H22** 男性19.13%、女性9.77%

・婚姻件数の減少：**S46** 14,152件 → **H26** 6,163件

・初婚年齢の上昇：**S60** 男性28.1歳、女性25.3歳 → **H26** 男性30.2歳、女性28.7歳

○核家族化の進行

・世帯数の増加：**S55** 498,356世帯 → **H22** 597,432世帯

・3世代世帯数の減少：**H12** 51,536世帯 → **H22** 35,971世帯

・1世帯当たりの平均人員の減少：**S55** 3.14人 → **H22** 2.36人

○児童虐待件数の増加

H12 139件 → **H26** 270件

子育てしやすい環境づくりの推進

◇ 国の動向 ◇

- 平成27年4月 子ども・子育て支援新制度 施行
幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上
- 平成27年3月 少子化社会対策大綱 閣議決定
個々人が結婚や子どもについての希望を実現できる社会をつくる
- 平成27年6月 骨太の方針（経済財政運営と改革の基本方針2015） 閣議決定
平成27年度からの5年間で「少子化対策集中取組期間」と位置付ける
安全かつ安心して妊娠・出産できる環境整備を図る
- 平成27年6月 まち・ひと・しごと創生基本方針2015 閣議決定
地方創生の深化に向けた政策を推進し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 平成27年9月 安倍総理、新たな「3本の矢」の政策を表明
第2の矢：夢をつむぐ子育て支援
希望出生率1.8、待機児童ゼロの実現など

子育てしやすい環境づくりの推進

◇ 県の動向 ◇

○平成27年3月 元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン 策定

プロジェクト：子育てしやすい環境づくり推進プロジェクト

重点施策：「みんなで子育て応援山口県」の推進

妊娠・出産・健やかな成長のための保健医療サービスの充実
子どもを守る取組の推進

○平成27年3月 やまぐち子ども・子育て応援プラン 策定

基本目標：やまぐち子育て文化の創造

キャッチフレーズ：みんなで子育て応援山口県

○平成27年10月 山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定

施策の方向：「少子化の流れ」を変える！

基本目標：結婚・出産・子育て環境の整備

（平成31年までに合計特殊出生率を「1.65」に向上させる
（平成42年までに合計特殊出生率「1.9」を達成するため）

子育てしやすい環境づくりの推進

◇ 基本方針 ◇

若い世代が希望を叶え、安心して結婚、妊娠・出産、子育てをすることができるよう、社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進め、切れ目のない支援を行うとともに、周産期医療や小児医療、不妊治療対策の充実、子どもを守る取組を推進する。

「みんなで子育て応援山口県」の推進

妊娠・出産・健やかな成長のための保健医療サービスの充実

子どもを守る取組の推進

「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 推進体制の整備 ◇

「やまぐち子育て連盟」の設立

設	立	平成26年8月
構	成	企業・地域・行政等 54団体
キャプテン		知事
副キャプテン		山口県経営者協会会長、子育て県民運動地域推進協議会会長



「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 出会いと結婚支援 ◇

やまぐち結婚応援センターの開設

少子化の主な要因である未婚化・晩婚化に対応するため、結婚を希望する独身男女に1対1の出会いのサポートを行う『やまぐち結婚応援センター』を、9月3日（木）にオープンしました。

センターの概要

場 所	パルトピアやまぐち（防長青年館）3階
職 員	センター長、コーディネーター、事務員
窓 口 等	登録・検索ブース：3、お見合いルーム：2
開 設 時 間	月・木・金：12:00～19:00、土・日・祝日：10:00～17:00 ※火曜日、水曜日、年末年始は休み



センター利用の流れ

やまぐち結婚応援センター

希望の相手検索

会員登録

（会員登録料：5,000円/年）

結婚を希望する独身男女

引き合わせ
日時等を調整

交際が成立すれば
交際をフォロー



今後のスケジュール

10月～
1月以降

マッチング開始
東部、西部、北部支部オープン



やまぐち結婚応援センター 検索

<https://www.yamaguchi-kekkon.com>

「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 出会いと結婚支援 ◇

■ 「結婚・子育て応援デスク」の設置

若い世代が希望を叶え、安心して結婚し、妊娠・出産、子育てができるよう支援するための総合的な相談窓口（平成26年9月開設）

- ◇ 相談体制：相談員による電話、面談対応
- ◇ 開設場所：山口県健康福祉部こども政策課内
- ◇ 相談時間：平日（月曜日から金曜日）9時から16時



■ 「やまぐち結婚応援団」の運営

やまぐち結婚 応援団

イベントカレンダー

no image ▶ 2015年 10月 4日（日）（12:00~18:00）
レノファ山口in下関競技場観戦&懇親会
（主催：シングルサークル下関）
イベントの詳細をみる ▶

▶ 2015年 10月 4日（日）（18:00~00:00）
山陽小野田市
【らくよりParty】海辺のお洒落なレストラン「ソル・ボニエテ」でPartyを・・・
（主催：らくよりドットコム）
イベントの詳細をみる ▶

結婚に向けた出会いの場づくりを応援する団体・事業所等を「やまぐち結婚応援団」として登録し、団員が行う婚活パーティー等のイベント情報を発信

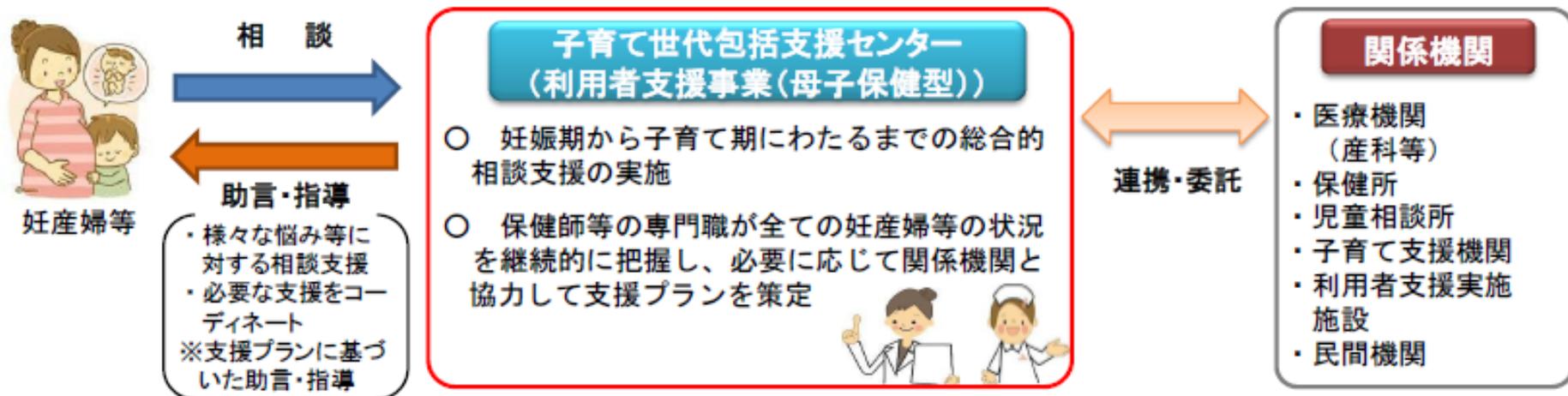
- ◇ 登録団員数 105（平成27年10月末現在）

「みんなで子育て応援山口県」の推進

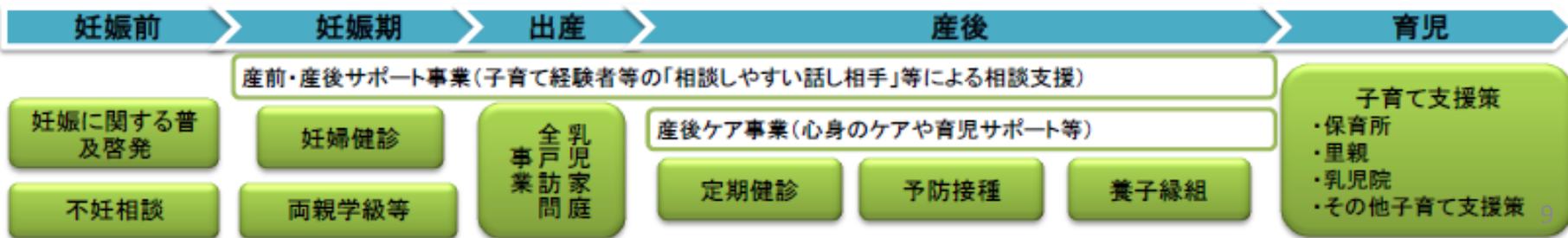
◇ 安心して出産・子育てができる環境づくり ◇

■ 「子育て世代包括支援センター」の整備支援

妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を行うワンストップ拠点を市町が整備するための支援制度を創設



【妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援の実施】



「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 安心して出産・子育てができる環境づくり ◇

■ 小児救急医療電話相談

利用時間の延長（平成26年度～）

午後7時～11時 → 午後7時～翌日午前8時

■ 放課後児童クラブ延長支援制度の創設

18時以降の開所促進による「小1の壁」解消

- 18時以降の延長開設への経費支援
（運営費補助金の上乗せ加算の実施）

開所時間：18時 ⇒ 19時に延長

夜、子どもさんの急な病気の時などに相談ください

熱 熱がでた！
咳 咳がひどい！
吐 吐いた！
嘔吐

小児救急医療
救急にかかる前に
電話相談

●プッシュ回線の固定電話及び携帯電話から利用できます。

#8000

●全ての電話から利用できます。
(IP電話、ひかり電話など#8000を利用できない場合はこちらへ)

083-921-2755

●お願い●この電話相談では、診察や治療はおこないませんのでご注意ください●

相談日	相談時間	対象者	相談員
毎日 (365日)	午後7時 ▼ 翌朝8時	15歳 未満の 子ども	看護師及び 小児科医 初めに専属の看護師が電話相談に応じます。 医師の指示が必要なときは小児科医の指示を仰ぎます。

こどもの救急 (ONLINE-QQ) ホームページ <http://kodomo-qq.jp>
山口県・山口県医師会

「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 安心して出産・子育てができる環境づくり ◇

■ 男性の家事・育児参加の促進

育児を積極的に行う男性「イクメン」を応援し、父親の積極的な家事・育児への参加を推進

- イクメン応援表彰（取組優秀事例）
- イクメンセミナーの開催（県下3か所）
- お父さんの育児手帳の配布
- 知事とイクメンパパの料理教室の開催

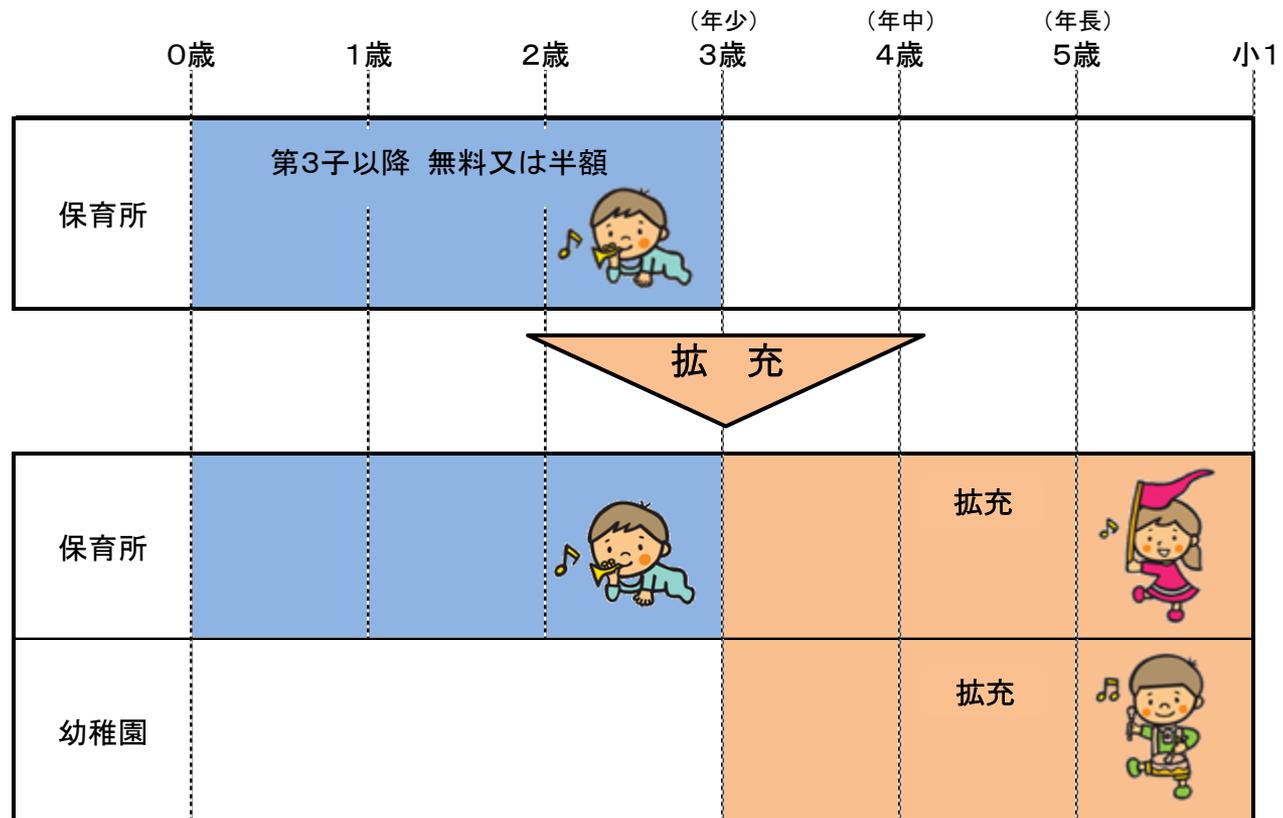


「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 多子世帯への支援の充実 ◇

■ 多子世帯への保育料等軽減の拡充（全国トップ水準）

市町と共同して第3子以降の子ども
の保育料などを世帯の所得に応じて軽減



平成27年度からは、
○対象年齢を3歳未満
児からすべての未就
学児に
○対象施設を保育所か
ら幼稚園も含めるよ
うに
拡充

「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 多子世帯への支援の充実 ◇

■ 多子世帯への祝品等贈呈

子どもや子育て家庭を応援する気運の醸成を図るため、多子世帯へ祝品等を贈呈

[対象] 県内在住の第3子以降の子が生まれた世帯

[贈呈品] 知事からの祝状、県産農林水産品



■ 企業等の協力による子育て家庭への支援

- 18歳未満の子どもがいる家庭や妊娠中の方がいる家庭に対し、協賛企業から優待サービスが受けられる制度を実施(2,013事業所)
- 中国地方5県でサービスの相互利用開始(平成27年4月～)
- 多子世帯応援企業が多子世帯に対する優待サービスを実施(437事業所(34企業))



「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 就業環境の整備 ◇

■ やまぐち子育て応援企業宣言制度

(717社届出 (H20～ H27.10末現在))

男女が安心して子どもを産み育てることができる雇用環境づくりに取り組む企業を奨励・支援し、その取組を広く紹介

■ やまぐちイクメン応援企業宣言制度

(104社届出 (H26.8～ H27.10末現在))

男性従業員が育児参加しやすい雇用環境づくりに取り組む企業を奨励・支援し、その取組を広く紹介

別紙
第2号様式 (第3条関係)

宣言文イメージ

やまぐちイクメン応援企業宣言書

我が社における、イクメンを推進するため、次の取組を行うことを宣言します。

■ 事務所の所在地 山口市滝町□-□

■ 名 称 山口◇◇株式会社

■ 代表者職氏名 代表取締役 ○○ △△

1 取組内容

取組1
○男性の育児参加を積極的に進めるため、育児休業等制度の周知を図ります。

取組2
○男性の育児休業取得を進めます。

取組3
○職場の上司、同僚等一体となって男性が育児しやすい雇用環境づくりを進めます。

2 経営トップからのメッセージ

我が社においては、男性の育児参加を積極的に進めるため、子育てに係る各種支援制度等の周知を図ります。
また、男性の子育て支援を社員が一丸となって応援します。
そして、男性の育児休業取得者が増加するよう願っています。

「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 就業環境の整備 ◇

■ 企業の両立支援への取組を支援

企業の主体的な取組促進

- 子育て・イクメン応援企業の登録促進
- 子育て・イクメン応援企業及びイクボスの表彰
- 一般事業主行動計画を策定しようとする事業主に対して、アドバイザーを派遣

企業と一体となった 気運醸成

- イクボスセミナーの実施
- ロゴ・グッズ・事例集作成によるイクメンの効果的な普及
- 「ワーク・ライフ・バランス」の実現を目指す企業に対して、出前講座の実施

イクメンパパ 子育て応援奨励金の創設

- 男性従業員が1日以上の子育て休業を取得した場合に、企業に対し奨励金を支給
- ◆対象 イクメン応援企業（従業員300人以下）
- ◆奨励金額
 - 1日以上5日未満 50千円
 - 5日以上2週間未満 100千円
 - 2週間以上1ヶ月未満 150千円
 - 1ヶ月以上 200千円

「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 就業環境の整備 ◇

■ イクボス宣言

やまぐち子育て連盟キャプテンの村岡知事は、
浅原教育長、藤村警察本部長とともに、「イクボス」を宣言



イクボス共同宣言



- 私は、組織における取組として、成果の向上を図りつつ、業務の効率化、柔軟な働き方の導入、育児休業の取得奨励などを通じて、子育てに優しく、すべての職員が仕事と家庭を大切にできる職場づくりを進める「イクボス」になります。
- 私は、職員のワーク・ライフ・バランスを応援しながら、自らも、率先して、仕事を充実させつつ、私生活を楽しみ、家族との時間を大切にする「イクボス」になります。
- 私は、県内に「イクボス」を増やすため、企業・団体等への働きかけを積極的に行い、県民誰もが、生活を楽しみながら、いきいきと活躍できる山口県の実現に向けて全力で取り組みます。

平成27年6月9日

山口県知事

村岡 嗣政

山口県教育委員会教育長

浅原 司

山口県警察本部長

藤村 博之

「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 子ども・子育て支援新制度の円滑な実施 ◇

■ 施設の新制度移行状況

区分	認定こども園				保育所	幼稚園		地域型 保 育	認可外
	幼保 連携型	幼稚園 型	保育所 型	地方 裁量型		新制度	旧制度		
H26.4	1	10	0	0	313	—	170	—	144
H27.4	13	20	0	0	301	64	79	3	141

施設型給付

地域型保育給付

「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 子ども・子育て支援新制度の円滑な実施 ◇

■ 保育等の量的拡充

保育所における待機児童の状況

区分	市町名	3歳未満児	3歳以上児	計
待機児童数 (H27.4.1)	山口市	54	14	68
	下松市	3	0	3
	計	57	14	71

放課後児童クラブにおける待機児童の状況

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
待機児童数 (H27.5.1)	23	28	86	91	21	6	255
	137			118			

○市町計画における設置箇所数 H26:337カ所 → H31:408カ所

「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 子ども・子育て支援新制度の円滑な実施 ◇

■ 保育の質の改善

○3歳児の職員配置の改善 20:1 → 15:1

○職員給与の改善(私立幼稚園、保育所等、認定こども園) → +3%

■ 保育士の確保

○山口県の保育士の需給状況(常勤換算)

H24:3,814人 → H29:4,529人

⇒ +715人必要 = 自然体の増441人+新規確保274人

○保育士確保の取組

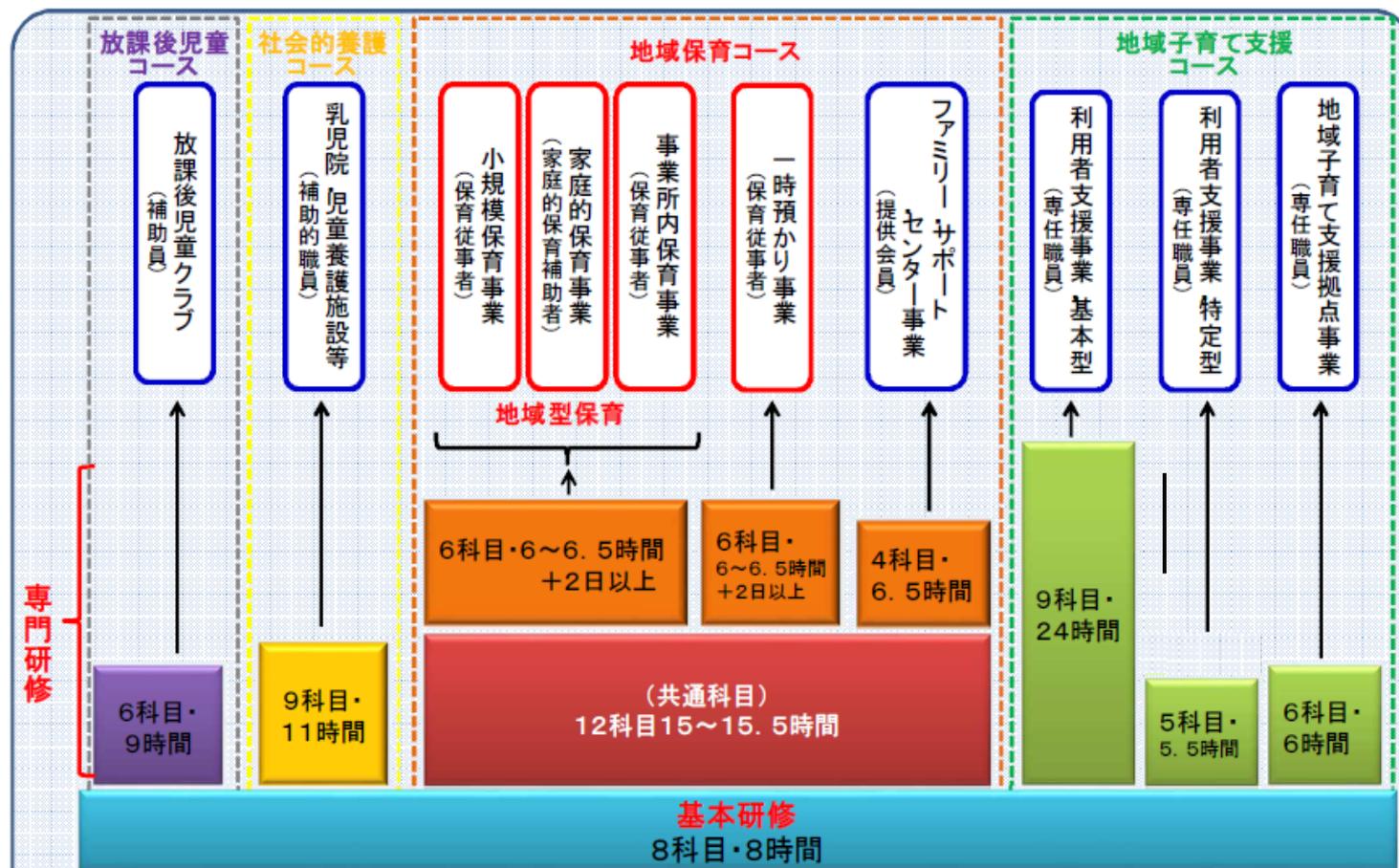
- ・保育士再就職支援コーディネーターを県福祉人材センターに配置
- ・潜在保育士に対する再就職支援研修の実施[H27:12/5山口県セミナーパーク]

「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 子ども・子育て支援新制度の円滑な実施 ◇

■ 地域の子育て支援人材の確保（子育て支援員研修）

子育て支援員研修の体系



「みんなで子育て応援山口県」の推進

◇ 子ども・子育て支援新制度の円滑な実施 ◇

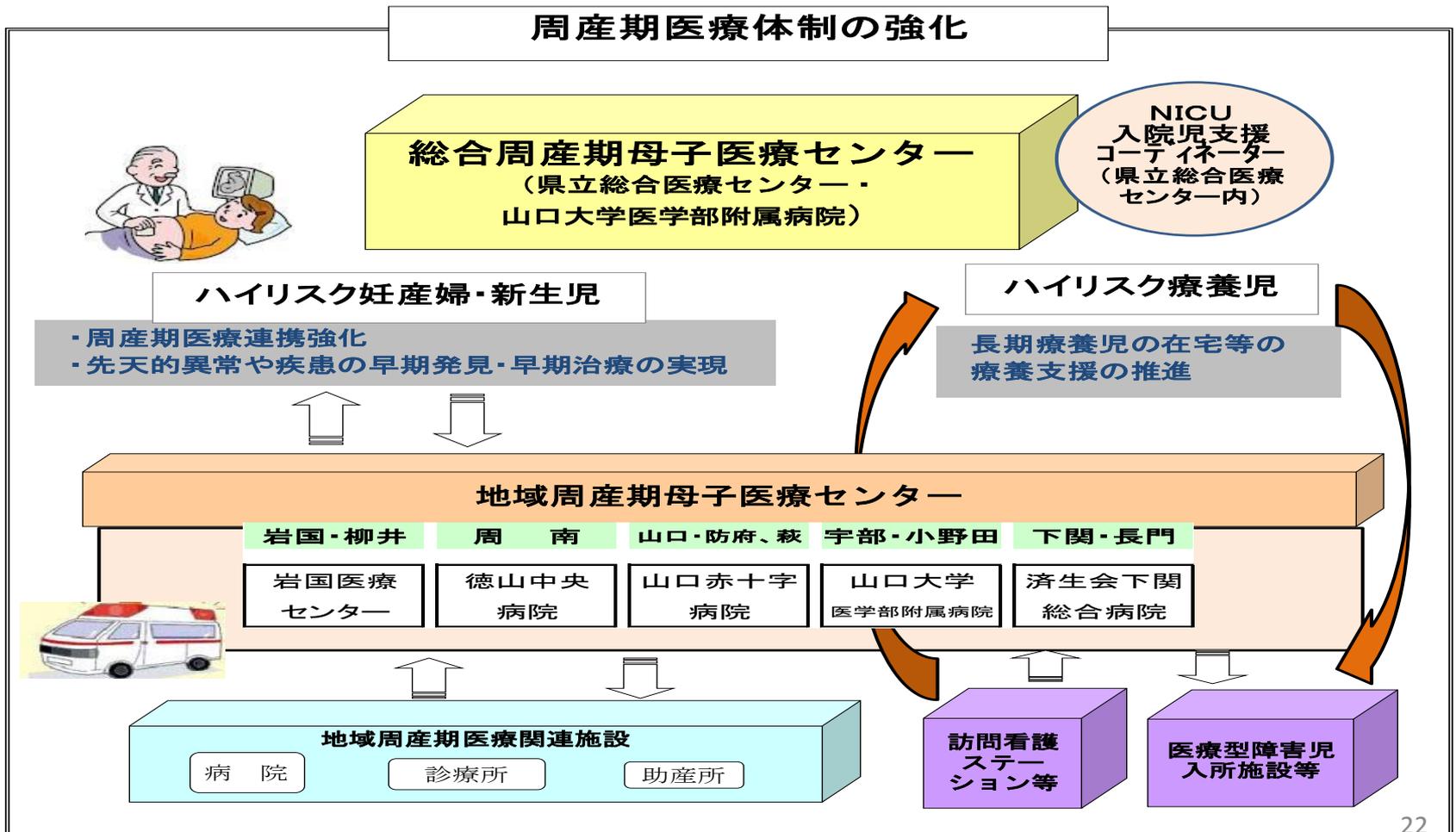
■ 地域の子育て支援の取組

	現状(H26)	目標(H31)
利用者支援事業	2市	19市町
地域子育て支援拠点事業	148か所	150か所
一時預かり事業(保育所等)	269か所	291か所
一時預かり事業(幼稚園)	132か所	147か所
延長保育事業	231か所	246か所
病児・病後児保育事業	23か所	35か所
放課後児童クラブ	337か所	408か所

妊娠・出産・健やかな成長のための保健医療サービスの充実

◇ 周産期医療体制の充実・強化 ◇

■ 周産期医療体制の充実・強化



妊娠・出産・健やかな成長のための保健医療サービスの充実

◇ 不妊治療に対する支援の充実 ◇

■ 不妊治療の流れをすべてカバーする助成制度の構築（全国トップ水準）

不妊治療に伴う経済的な負担を軽減するため、治療費の一部を助成
平成27年度からは、新たに男性不妊治療費助成制度を創設

一般不妊治療

○保険適用となる
タイミング法、
男女の薬物療法
などが対象

○夫婦一組につき
1年度あたり
3万円まで助成

人工授精

○保険適用外の
人工授精
が対象

○夫婦一組につき
1年度あたり
3万円まで助成

特定不妊治療

○保険適用外の
体外受精、
顕微授精が対象

○治療1回につき
15万円まで助成
(凍結肺移植等は
7万5千円まで)

+

創設

男性不妊治療

○特定不妊治療の
一環として行う
採精手術が対象
(保険適用外)

○治療1回につき
10万円まで助成

子どもを守る取組の推進

◇ 児童虐待防止対策の推進 ◇

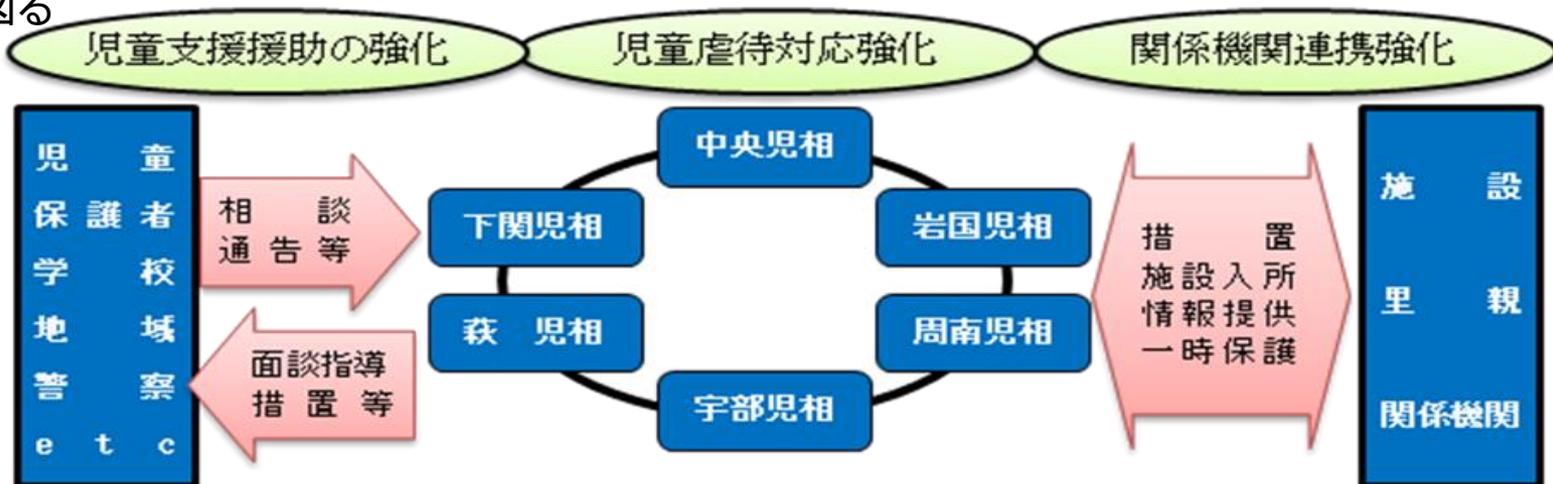
■ 児童相談体制の強化

○組織体制の強化

相談件数の増加や複雑・多様化する相談に対応するため、新たに「宇部児童相談所」を設置

○児童相談所システムの導入

ケース記録等のデータベース化による児童情報等の一元管理と共有化を進め、児童相談所の事務処理の効率化と児童への措置・援助等を適時・的確に行えるよう機能強化を図る



子どもを守る取組の推進

◇ 児童虐待防止対策の推進 ◇

■ 発生予防から保護・自立に至るまで切れ目ない支援

- 児童虐待の発生予防から保護・自立に至るまで、関係機関の連携による切れ目のない支援を実施
- 保護・自立支援については、施設の体制整備や里親への委託促進等、家庭的養護の推進に向けた取組を強化

発生予防	◆関係機関の連携による虐待の未然防止を図る。 ○関係機関の連携強化実践トレーニング 等
早期発見・ 早期対応	◆虐待の早期発見・早期対応のための体制整備を進める。 ○児童相談所 24 時間 365 日相談体制の確保 ○虐待対応職員の専門性の強化（専門研修派遣、立入調査研修）等 ○児童相談所安全確認職員の配置
保護 ・ 自立支援	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"><p style="text-align: center;">家庭的養護の推進</p><p>◆社会的養護が必要な子どもを、より家庭的な環境で育てることができるよう、施設の体制整備や里親委託の推進を図る。</p><p>新里親広報啓発、制度説明会の開催等 新児童養護施設等の人材確保事業</p></div> <p>○入所児童等の社会的自立支援のため運転免許取得費等の補助を行う。</p>